

波のおと

情報センター(図書館)だより Vol.26

2017 spring&summer

RICローズガーデン

本学白砂ゼミ学生と六甲アイランド住民、神戸市が協働し、2011年、アイランドセンター駅西側にバラを中心とした花壇づくりを始めた。

6年を経て、無農薬で育てられた花は大きく成長し、街の美しい景観となっている。

毎年5月には、住民や同ゼミ学生たちが協力して「バラ祭」が開催され、多くの人でにぎわう。



contents

ようこそ神戸へ 春のおでかけ文学さんぽ
開館カレンダー
☆新着☆スタッフおすすめの本



春のおでかけ 文学さんぽ



この春、地元を離れて大学生活をはじめたみなさん、ようこそ神戸へ！ ようこそ、神戸国際大学へ！
神戸は、魅力的な観光スポットとともに、文学の香りが残る町でもあります。ここでは身近な文学・観光スポットや神戸ゆかりの作品を紹介します。
(番号がついている本は、本館所蔵です)

芦屋～住吉・御影



倚松庵(いしょうあん)

谷崎潤一郎が夫人と住み、小説『細雪』(080/Sh61/た1-9)の舞台となった。
住吉川沿いに建ち、六甲ライナーの西側に見ることができる。

芦屋市には「谷崎潤一郎記念館」があります。



弓弦羽神社 (ゆずるはじんじや)

フィギュアスケート・羽生結弦選手の名前と似ていることから、全国から参拝者が訪れる。



神戸文学館

明治以降の神戸にゆかりのある文学者を紹介している。
現在は山下澄人コーナー(第156回芥川賞受賞・灘区出身)を設けている。



芦屋市立図書館

村上春樹が十代のころ通い詰め、「個人的にいちばん好きな図書館」と語る。この建物は現在、芦屋市立図書館打出分室となっている。

北野・六甲山



『江戸川乱歩随筆選』 (080/c44/え-7-1)

乱歩創作の打ち明け話の随筆集。
『人間椅子』は友人の横溝正史と訪れた北野のアンティーク店で見た古い椅子をアイデアに創作された。

『原色牧野植物大図鑑』 (470.38/Ma35)

すべて牧野富太郎博士手描きイラストの植物図鑑。
牧野博士は兵庫区に池長植物研究所を設立し、六甲山や有馬で植物の調査を続けた。
六甲高山植物園は、牧野博士の指導のもと1933年に開園した。



海拔865mに位置する六甲高山植物園の気候は北海道南部とほぼ同じです。



英国館

神戸・北野異人館街

英国館はシャーロックホームズの部屋が再現され、衣装を着て写真撮影ができる。
北野界限では異国料理店が多数。



うろこの館



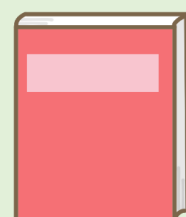
風見鶏の館

須磨～垂水方面・淡路島



『三国志』(726.1/Y79/1) 横山光輝著 潮出版社

須磨区出身の漫画家。
JR長田駅前には、自身の代表作『鉄人28号』のモニュメントが建てられている。



『少女』(913.6/Mi39) 湊かなえ著 早川書房

淡路島、洲本市在住の小説家。
ミステリー作品を多数発表。

神戸の
地域キャラクター
コーベアー



『菜の花の沖』 (080/B89/し-1-52)

司馬遼太郎著 文春文庫
淡路島の豪商・高田屋嘉兵衛を描いた物語。



あわじ花さじき

兵庫県が淡路島に設置した花の名所。明石海峡や大阪湾をバックに四季折々の花を楽しめる。
4月下旬からは「ポピーまつり」開催予定。

三宮周辺



関帝廟 (かんていびょう)

三国志の英雄・関羽を祀った寺院。
中央区中山手通7-3-2



...散歩がてら山の手の小さなレストランまで歩く。
(中略)

運ばれてきたシーフードピザには「あなたが召し上がるピザは、当店の958,816枚目のピザです」という小さな紙片がついている。

村上春樹

『辺境・近境～神戸まで歩く』
(080/Sh61/む5-18)



旧第一銀行神戸支店

金田一耕助シリーズで有名な作家・横溝正史がかつて勤めた。建物の外壁は現在、地下鉄海岸線、みなと元町駅として利用。



東京駅と同じ辰野金吾氏の設計。
「近畿の駅100選」にも選ばれました。



ポートタワー

その優雅な姿から「鉄塔の美女」と呼ばれる。神戸のランドマークタワー。

NEW!

図書館では4/10～6/3まで「知ればもっと好きになる!神戸」の企画展示を行っています。あわせてご覧ください。

2017年度 開館カレンダー(4月～8月前半)

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8				

通常 9:20~20:00 開館

9:20~17:00 開館(土曜・春季など)

休館日

※8月9日以降の予定は後日お知らせします。

☆ スタッフおすすめの新书推荐 ☆

ここで紹介した本は図書館に展示しています

『しんせかい』(2016)

山下澄人 新潮社

第156回芥川賞受賞作。
作者は倉本聡主宰「富良野塾」
2期生。
自身と同名の主人公の入塾から
の1年間の生活を描く。
神戸市灘区出身。

『最後の秘境 東京藝大

天才たちのカオスな日常』(2016)

二宮敦人 新潮社

入試倍率は東大の3倍。卒業後の進路
は未定なうえに行方不明者多数。
「芸術界の東大」は謎に満ちあふれて
いる。カオスな世界への潜入探検記。

『MBA100の基本』(2017)

グロービス 東洋経済新聞社

「なぜ？」を5回繰り返せ」、「競争するのは最悪の戦略」、
「平均値は平均の像ではない」など、ビジネススクールの2
年間で学ぶ必修知識をワンフレーズでわかりやすくまとめ
ている。

波のおと 情報センター(図書館)だより Vol.26 2017年4月発行

編集・発行 神戸国際大学情報センター(図書館)

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9-1-6

TEL 078-845-3344 / FAX 078-845-3355